

自尊感情からみた大学生のキャリア意識に関する一考察  
— 体育各部学生と一般学生の比較から —

A study of the career mind of the college students through self esteem:  
Comparison analysis of athlete students and non-athlete students

1K09B065 桐山 峻

指導教員 主査 作野 誠一 先生 副査 内田 直 先生

## 【目的】

近年、我が国のスポーツ界は目覚ましい発展を遂げている。例えばサッカー界では他国開催のW杯で初のベスト16という結果を収め、2012年に開催されたロンドンオリンピックにおいては、史上最多の38個ものメダルを獲得するに至った。その一方で、表舞台に立つことなくスポーツ界から姿を消す人もまた非常に多く、セカンドキャリア問題が深刻化している。

筆者は学生生活において、キャリア・デザインについて学び、その考え方はあらゆる人々にとって普遍的で有効な手段として用いられていることを知った。また、大学時代の就職活動においては体育各部に所属していた学生の就職状況の方がむしろ順調であるのではないかと印象を受けた。そこから、大学において体育各部でスポーツをしている学生は、他の学生に比べ自分自身についての考えや自身のキャリアについての考えがしっかりしているのではないかと考えた。本研究は、かかる仮説の検証を通じて、セカンドキャリア問題の解決に対し何らかの示唆を行うことを目的とする。

## 【方法】

調査方法にはアンケート調査を用いた。調査内容は、自尊感情及びキャリア意識に関するものとした。

自尊感情とは、「自分には価値があり尊敬されるべき人間であると思える感情のこと」であり、自尊感情の高い者は、学業成績が良いことや、対人関係のあり方も良いことが示されている。本研究においては、Rosenberg自尊感情尺度を山本ら（1982）が邦訳したものをを用いた。

キャリア意識に関する項目は、梅澤（2007）による「大学生に望まれるキャリアマインド確認のためのセルフチェックシート」を用いた。このチェックシートは、学生が卒業後10年間、生活信条にしてほしいと期待する20項目からなっている。

本研究では体育各部学生と一般学生を対象とし、これらの変数について比較、検討する。体育各部学生と一般学生の間には差異はみられるのか、また、スポーツがこれらに影響を与えるのかを明らかにする。

## 【結果】

### 1. 体育各部学生と一般学生の比較

体育各部学生と一般学生の自尊感情の違いに関して、体育各部学生の方が程度が高いことが示された。しかし、キャリア

意識に関する項目においては、有意な差がみられなかったため、キャリア意識については両者の間に明確な差はないことが示された。

### 2. スポーツ競技歴別の比較

スポーツ競技歴別に自尊感情の程度を見ると、より長期間スポーツを実施している者の方が自尊感情が高いことが示された。また、キャリア意識に関しては有意差がみられなかった。しかしスポーツの経験がない人と長期間スポーツをしている人の平均値には差がみられず、セカンドキャリア問題が深刻化している今日において、スポーツに専念している人とそうではない人の間にキャリア意識の違いはほとんどみられないといえる。

### 3. 学年別の比較

学年別比較分析では、自尊感情の程度に関して有意な差はみられなかった。しかしキャリア意識に関しては、大学3年生がその他の学年に比べて低いことが明らかになった。これは就職活動という人生の節目を迎えるからだと思われるが、これは体育各部学生、一般学生問わず、3年生になると低くなる傾向が示された。

### 4. 実施種目別の比較

それぞれが行っているスポーツを、集団スポーツ群、個人スポーツ群、スポーツ経験なし群に分類して自尊感情の程度を見ると、スポーツ経験なし群が集団スポーツ群、個人スポーツ群の両者と比較して低いことが示された。一方、キャリア意識に関しては有意差はみられなかった。

## 【考察】

本研究では、自尊感情において有意な差が確認された。その一方でキャリア意識については差が見られず、体育各部学生と一般学生の間でキャリア意識には違いがみられないことが明らかになった。しかし、スポーツに専念する人はそうでない人と比べて劣るという向きも一部にある中、自尊感情は一般学生より高く、キャリア意識は差がみられない、という結論に至った。つまり、スポーツに専念することが今後のキャリア形成にとってむしろ有利にはたらくという可能性が示唆された。セカンドキャリア問題は深刻になっているが、大学生の段階ではとりわけ大きな問題点は見いだせなかった。つまり、セカンドキャリア問題は大学卒業後のキャリア意識の形成に問題があるものと推測される。